

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 3 めしべ	花のつくりのうち、先に花粉がつくことで、やがて実になり、その中に種子ができる部分をめしべといいます。
問2	答え 1 受粉	めしべの先に花粉がつくことを「受粉」といいます。受粉をすることで、花は実や種子をつくることができます。
問3	答え 1 1つの花にめしべとおしべが両方そろっていること。	アサガオ、アブラナ、ユリは、すべて1つの花の中にめしべとおしべが両方そろっているという特徴があります。
問4	答え 1 めしべの先に花粉がつくこと	花が咲いたあとに実ができるためには、めしべの先に花粉がつくこと（受粉）が必要です。
問5	答え 3 めばなとおばなの2種類の花が咲く。	オモチャカボチャは、ヘチマと同じように、めばなとおばなという2種類の異なる花を咲かせる性質があります。
問6	答え 1 柱頭（ちゅうとう）	めしべの先の部分を柱頭といいます。花粉がつきやすいようなつくりになっています。
問7	答え 1 プレパラート	観察するものをのせたスライドガラスをステージに置き、クリップでとめたものをプレパラートといいます。
問8	答え 1 ミツバチなどの虫	ヘチマやカボチャなどの植物では、花粉がミツバチなどの虫の体につくことで運ばれます。
問9	答え 2 おしべ	花のつくりの一つで、先に花粉という粉のようなものがついている部分をおしべといいます。
問10	答え 2 おしべとめしべが1つの花の中にある。	アブラナの花は、1つの花の中におしべとめしべの両方があるという特徴を持っています。
問11	答え 1 植物の種類がちがうので、花粉の形や大きさがちがう。	アサガオとヘチマは異なる種類の植物なので、それぞれの花粉の形や大きさはちがっています。
問12	答え 2 アサガオの花	アサガオの花は、おしべとめしべが1つの花の中にある植物です。
問13	答え 1 ヘチマの花	ヘチマの花には、めばなとおばなの2種類があります。めばなにはめしべがあり、おばなにはおしべがあります。
問14	答え 1 虫に花粉が運ばれる花	ヘチマやカボチャ、コスモスなどは、こん虫に花粉を運んでもらう「虫に花粉が運ばれる花」の仲間です。
問15	答え 1 受粉（じゅふん）	めしべの先に花粉がつくことを受粉といいます。